

伴侶を亡くした人々の会



〒601-8441 京都市南区西九条南田町38-8 富田秀信 気付
TEL 090-3671-4543 FAX 075-691-9465

2024年 全体企画・日程決まる

「全体企画日程は早く決めて」の会員さんの声もあり、5月1日事務局会議を行いました。

初夏・6月29日(土)、秋・10月19日(土)、冬・12月7日(土)。

の3回です。秋と冬の企画内容はこれから検討します。

6/29は「梅小路公園と昼食会」

・梅雨時、天候心配せずの企画です。鉄道博物館(1,500円)、水族館(2,400円)など周りの施設見学など各自自由。但し、鉄道博物館(蒸気機関車館)は独自ガイド付き。

10:00 集合 梅小路公園京都水族館正面前 (各々の見学先だけ点検します)

10:30~12:15 自由行動

12:30 水族館前に再集合して昼食会場へ(歩15分)

13:00 乙文(壬生川花屋町西入 ☎ 075-351-2792)

※昼食会だけの参加OKです。

14:30 解散

費用 3,500円(昼食代+乾杯用飲物代)

お申込みは、メール、FAX、TELにて富田事務局長まで。

※雨天決行、台風や集中豪雨など荒天の場合は中止です。

秋、冬企画の候補は、

① 神戸・須磨の海、須磨浦山頂公園(ロープウェイ)、海の幸堪能。

② 尺八、琴など邦楽と、殺陣の所作。(和風の室内)

などです。これ以外の皆さんからの企画提案歓迎です。

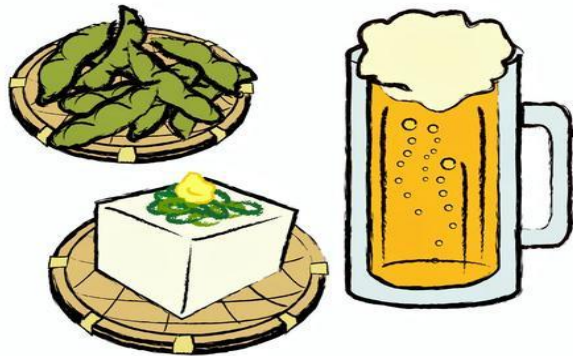
以上の、全体企画他、カラオケサークル、映画サークル(準備中)や、催事企画(地域の催し物)、避暑企画などこれまで通り会員さん同士お声かけで活発に行ってください

(事務局より)

【会員さんの寄稿】

グランボヌール（Grand Bonheur）の会について

山科の吉村です。私は 2022 年 11 月初めに最愛の妻を亡くしました。失意に暮れている時に、確か自分と



同じ境遇にある人たちの会があったはずだと思ってネットで検索しました。そこで「腑抜け NO 会」を見つけて連絡をしました。事務局の富田さん、真田さんからご連絡をいただき、2022 年 12 月の聖護院門跡の会から参加させていただきました。伴侶を亡くしたという同じ境遇の方たちとはやはりとても分かり合えると感じました。

その時に、私たち夫婦が山科に来る直前まで住んでいて、まだ居宅が残っている秋田県大曲で、息子の同窓生の親たちで伴侶を亡くしている人たちがいることに気づきました。

私を入れて 5 人、男 2 人女 3 人です。5 人ともともと顔見知りであったので、みんなで集ろうと声掛けしました。2022 年 12 月末に第 1 回目の会を居酒屋でやりました。まあただの飲み会でしたが…。

その後この会に名前を付けようという意見が出て、ラインでやりとりしている中でメンバーの中で一番若い女子(たぶんその時に 52 歳)から「ボヌールの会」にしようという提案がありました。「ボヌール(Bonheur)」とはフランス語で「幸福」という意味です。それはいいねえと思いましたが、「グラン(Grand)」を付ければもっといいかなと思って私が提案し、「グランボヌール(Grand Bonheur)の会」になりました。「グランボヌールの会」とは、すなわち「大きな幸せの会」という意味になります。

「グランボヌールの会」はこれまでに 4 回やりましたが、5 人全員の出席はまだありません。毎回誰かひとりが欠席です。すべてお酒を飲みながらの雑談だけです。第 1 回目が居酒屋で、あとは私の居宅でやりました。最後の会は去年の 10 月に行い、12 月にも声掛けしたのですが、みな多忙で開催できず、大雪が降る地域ですので、雪が融けたらまたやろうということにしました。

《シリーズ企画 私の健康法・生きがい》

楽しいことを求めて

真田 滋子

身体に栄養・頭に楽力、人は誰でも楽しい事が大好き、悲しい事より喜びが多い方がいい！でもなにも考えず、何の行動も起こさなければ喜びもやって来ないでしょう。「喜びは創り出すのも」「楽しみは感じ合えるもの」私達は生きているからこそ五感を駆使することが出来るものだと思います。

季節の中に四季があるように、心にも四季が有ってもいいんじゃない？「喜んで・楽しんで・苦しんで・悲しんで」そして、私たちは遊びを創る、「遊びケーション」「飲みケーション」と、人とのコミュニケーションを大切にしながら日々社会と繋がっています。

幼児から学童、青少年から高齢者、障害などの有無問わず、すべての方々から求められるのは楽しい事、身体にいい事かと信じます。特に高齢者に必要なものは「心の栄養となる、笑いと楽しさを創り出す力、楽力」ではないでしょうか。裏付けのある遊びは心を開かせ、癒されるものと信じます。

二本の足で歩き、ちょっぴり考える事が出来る間は、発想と発想の転換・創造を、フルに活用して一人でも多くの人と交わり、少しでも健康寿命を延ばしたいと切実に思います

6月 10日（月）9：15集合、9：30 映画鑑賞会スタート

第一回作品は「グラン・トリノ」（117分） 監督・主演 クリント・イーストウッド

人生の終わり方を模索する老男 人生の始まり方を知らない若者

《前号でお知らせした映画鑑賞サークルの続報です》

文化博物館での5月企画が午後ばかりで、合評会が夕方にかかるので、会員さん全体への案内が出来ずにいました。それでも試験的に5/8 1958年作品「駅前旅館」を4人で鑑賞、その後発足に向け相談しました。

- ・毎月1回、月曜日午前。（9：00～12：00の180分）
- ・場所は、ウィングス京都2Fシアター室（中京区東洞院六角下ル→先日の総会場所の近く）
経費は会場費、映写音響費など12,250円。参加者10人を募り、一人当たり1,225円＝既存映画館並みとする。
- ・直後、近所で昼食合評会行う。
- ・上映作品は、各自の手持ちのDVDとする。（レンタル店DVD使用は違法となる）
- ・映画の好みは千差万別なので、まず担当の木股氏のベスト3から選定し、それを上映する。
- ・会場の関係で150分までの作品限定。集合9：15、見所解説9：25、上映開始9：30。

となりました。

とにかく、10人集まる事が大事です。申込連絡先は富田事務局長まで。

（映画サークル準備会）

カラオケサークルを取材しました

5月10日、金曜日。抜けるような青空、まさに五月晴れというに相応しい日の午後1時頃、三々五々集まってくる善男善女。腑抜けNo会カラオケサークルの面々です。場所は四条河原町上ル東側「カラオケ館」。集まったのは7人、世話役の菅原さんによると「10人のメンバーだけど、全員が揃ったことはなくて、誰かしら欠席はある。今日はどちらかと言えば欠席は多いかな」とのこと。でも、皆さん部屋に入ると慣れた



様子で椅子を動かし、飲み物を準備し、マイクや音響機器をセットして準備が整います。それから午後5時までの4時間、全く途切れることなくリクエスト曲が入り、歌いっぱなし。そのエネルギーに驚かされました。皆さんが口々に言っていたのは「参加する人が固定化して

きてる。新しい人に来てもらって、新鮮な風を吹かしてほしい！」とのこと。皆さん是非参加して下さい。最後は「上を向いて歩こう」をみんなで歌ってお開きとなりました。（編集部 富田）

